

環境関連

2016年度の活動目標・実績と2017年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2016年度の目標・計画	2016年度の実績・成果	評価	2017年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●更新審査での推奨事項の拡大、指摘事項の削減	●推奨事項9件(前差+6件) 指摘事項13件(前差+2件) 不適事項0件(前差±0件)	△	●更新審査での推奨事項の拡大、指摘事項の削減
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●エネルギー原油換算使用量を1%削減 ●LED照明の導入拡大継続	●16年度比▲6.5%削減 ●広島店、横浜店にてLED照明を導入(投資額143百万円・LED照明6,463台)	○	●エネルギー原油換算使用量を1%削減 ●LED照明の導入拡大継続
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●食品廃棄物リサイクル率:56.0%(前年+0.4%) ●廃棄物リサイクル率:63.0%(前年+2.2%) ●分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上	●食品廃棄物リサイクル率:61.7%(前年+6.1%) ●廃棄物リサイクル率:62.4%(前年+1.6%)	○	●食品廃棄物リサイクル率:63.0%(前年+1.3%) ●廃棄物リサイクル率:64.0%(前年+1.6%) ●引き続き分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上
生物多様性への対応				
	●植樹:1,870本 ●グリーンラッピングで贈る記念日ギフトの推進:67,000件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施	●植樹:1,476本 植樹先:岩手県宮古市 ●グリーンラッピング実績:63,575件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施	△	●植樹:1,410本 ●グリーンラッピングで贈る記念日ギフトの推進継続:65,660件 ●社員ボランティアによる植樹活動実施
環境に配慮した商品の提供				
	●新規選定:30品目 ●オーガニックコットン商品(ベビーウェア・タオル等)のご紹介を強化	●新規認定実績33品目 ●A5サイズPOP作成 対象売上高119,500千円 目標比101.1%	○	●新規選定:30品目 ●オーガニックコットン商品のご紹介を強化の継続
従業員への意識啓発				
	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告者:150人 ●エコ検定受験者:46名 合格率:90%	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告者:59人 ●エコ検定受験者:46名 合格率:91.3%	△	●環境e-ラーニング:全従業員受講 ●節電応援キャンペーン達成報告者:100人 ●エコ検定受験者:52名 合格率:90%

環境関連データ

課題	単位	2014年度	2015年度	2016年度
店舗数	店舗	24	24	23
CO ₂ 排出量 ^{*1} * ² * ³	t-CO ₂	194,315	193,101	173,088
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量 ^{*1} * ³	t-CO ₂	193,578	192,417	171,052
店舗運営に伴う電気使用量 ^{*1}	GWh	341	339	315
店舗運営に伴う水使用量 ^{*1}	千m ³	2,265	2,262	2,128
容器包装使用量	t	1,465	1,432	1,395
廃棄物量(リサイクル率)	t(%)	30,880(62.1)	31,334(60.8)	29,390(62.4)
食品廃棄物のリサイクル率	%	54.7	55.6	61.7

※1 集計期間は4月～3月。

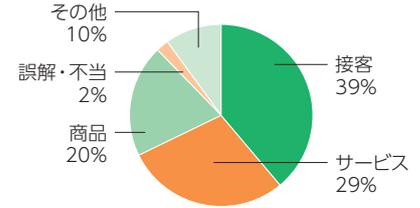
※2 店舗運営・法人外商部・本部・物流センターの運営に伴うエネルギー使用に由来するCO₂排出量。

※3 CO₂排出量は「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

お客様相談受付関連データ

2016年度も引き続き、各店のお客様相談窓口寄せられた「お客様の声」を受けて、接客レベルの向上・商品の品揃え・付帯サービス・施設の改善などに活かせるよう社内で共有。お客様のご不満の解消と、顧客ニーズを営業施策に反映するための活動を推進してきました。今後も、「お客様の声」からご要望を受けて、店舗と本部が連携して、対応を強化してまいります。

2016年度相談内容の内訳
受付件数9,161件(前年度比92%)



2016年度の活動目標・実績と2017年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2016年度の目標・計画	2016年度の実績・成果	評価	2017年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●小冊子「食品衛生管理の基本ポイント」を活用した現場メンバーの衛生管理知識向上 ●衣料・雑貨領域のPB商品を対象とした検品体制の継続 ●現場メンバースキルアップのために階層別研修を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●小冊子「食品衛生管理の基本ポイント」を朝昼礼や現場指導で活用し、現場メンバーの衛生管理知識向上 ●衣料・雑貨領域のPB商品の納品前点検を124回実施 ●現場メンバースキルアップのために階層別研修を24回実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●現場メンバーの衛生管理知識向上の継続 ●衛生点検結果に基づき、店舗ごとに課題を選択し集中して改善 ●衣料・雑貨領域のPB商品を対象とした検品体制の継続 ●現場メンバースキルアップのために階層別研修を継続
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●多目的トイレへの長時間使用警報装置の新設 	<ul style="list-style-type: none"> ●東戸塚店の多目的トイレ1か所に長時間警報装置を導入 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザイン視点での点検を開始(都内店舗)
適切な情報提供				
	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「食品表示」および「衣料・雑貨領域のPB商品表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●各拠点(厨房・売場)を対象に専門機関の「食品表示」点検を161回実施 ●PB商品表示については、納品前のサンプル点検と月2回の店頭点検を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「食品表示」及び「衣料・雑貨領域のPB商品表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」からご要望を分析し、店舗と本部が連携して、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進 ●お客様からのご不満の声の削減: 4,689件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」を活用した「サービス注意報」を毎週発信し、クレーム予防とサービスマインド向上活動を継続的に実施 ●「お客様の声」を活かした活動を継続的に実施し、お客様からのご不満の声は3,858件、前年より▲652件改善。 ●営業終了店舗のお客様対応は、お客様専用ダイヤルを設置。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●継続して「お客様の声」からご要望を受けて、店舗と本部が連携して、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進 ●お客様からのご不満の声の削減: 3,800件以下

2016年度の活動目標・実績と2017年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2016年度の目標・計画	2016年度の実績・成果	評価	2017年度の目標
育児・高齢者支援など				
	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション、カウンターの継続と親子参加型イベントの開催 ●助産師に寄せられた声をもとに開発した商品の販売強化と2017年新規商品化に向けた開発着手 ●新規育成 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:5人 ハートフルアドバイザー:15人 ●認知症サポーター:1,394人 累計4,000人 ●こども靴下取り足数:95,900足 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンター実績:20,976名(うちリピーター2,538名)親子参加型イベント他、マタニティ教室開催 ●自主商品開発見直しに伴い未実施 ●新規育成 シューフィッター:11人 フォーマルスペシャリスト:6人 ハートフルアドバイザー:38人 ●認知症サポーター:1,047人 累計3,654人 ●こども靴下取り足数:89,976足 	△	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターの継続と親子参加型イベント・マタニティ教室の開催 ●各店舗のお客さまに向けたコアな情報をプレママステーションからSNSで発信し、顧客化の強化を図る ●新規育成 シューフィッター:10人 ランドセルアドバイザー:20人 フォーマルスペシャリスト:5人 ハートフルアドバイザー:15人 ●認知症サポーター:1,346人 累計5,000人 ●こども靴下取り足数:91,675足
地域活性化への協力				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と密着したイベントを継続実施 ●期日前投票所設置による投票時の利便性向上 ●さらなる地域資源、地域職人と協業したモノ作りを行い、店舗ごとに違う、お客様の声に基づいた商品開発、品揃えを実施 ●地域限定の商品をネット販売を使って拡大し、全国のお客さまに向けた販売を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●「グリーンカーテンプロジェクト」「打ち水大作戦」などの地域イベント(各店) ●行政と連動した「地産地消催事」(千葉店、大宮店、福井店、船橋店) ●地元の大学、企業と連携した夏休みイベント「キッズアカデミー」(船橋店) ●所沢市連動「健康セミナー」(所沢店) ●地元の特産品を紹介する「藍染めファッションショー」(徳島店) ●4店舗に期日前投票所設置(池袋・千葉・東戸塚・福井) ●店舗スタッフが地域ごとに違うお客さまの声を反映したモノ作りを『NUTTE』と取組、地域縫製職人が生産した地域ごとの商品を開発した ●地域限定の商品をネット販売、結果販路拡大につながる 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と密着したイベントを継続実施 ●期日前投票所設置による投票時の利便性向上の継続実施 ●店舗が主体となり、それぞれの伝統・技術・文化・地域限定商品、特産品の紹介、販売を推進 ●店舗間での各地域限定商品、特産品の情報共有・告知・販売の強化
災害時の支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた自治体や地元企業との連携・協力体制の継続 ●「防災フェア」などの開催を通じ、地域と連携した防災への意識啓発活動を推進 ●締結した「地域包括協定」に基づく地域活性化への関与増強 	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗所在地の自治体や大型商業施設・交通事業者等の参加で組織化されている「帰宅困難者対策協議会」へ参加すると同時に合同訓練等にも積極的に対応実施 ●「110番の日」・「防災の日」・「救急の日」等のモチベーション機会を捉え、店内スペースを利用した地域住民への防災・防犯意識啓発活動や防災備蓄品等の展示即売等を実施 ●防災週間、防災ボランティア週間において地震防災チェックシートを配布、防災パネルの展示(横浜店) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●既に締結している「地域包括協定」や地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた地元自治体・企業との連携・協力体制や地域活性化への関与強化 ●「防災フェア」などの開催を通じ、地域と連携した防災への意識啓発活動推進
地域防犯対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で開催された「防災訓練」や「防犯パトロール活動」等への参加 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地域と連携した防犯・防災体制へ継続的に協力

従業員関連

2016年度の活動目標・実績と2017年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2016年度の目標・計画	2016年度の実績・成果	評価	2017年度の目標
能力向上支援	●新規受講:2,900人 自主売場研修:延べ1,900人 キャリアアップ講座:延べ1,000人	●新規受講:3,728人 自主売場研修:延べ2,853人 キャリアアップ講座:875人	○	●新規受講:2,400人 販売基礎研修:延べ1,500人 キャリアアップ研修:900人
ワークライフバランスの実現	●女性活躍推進法に基づく「えるぼし」企業の認定申請 ●育児・看護・介護休暇(有給)取得者拡大に向けた体制整備	●一部、評価項目が基準に届かず未承認。 ●社内サイトにダイバーシティ専用ページを設置し周知。育児休暇取得者は前年2.5倍に増加	△	●えるぼし認定に向けた体制整備 ●育児・看護・介護休暇取得利用者数の拡大
多様な人材の活躍	●契約社員からの正社員登用数:40人 ●専門人材の中途採用数:10人 ●女性管理職比率(課長級以上):20%	●契約社員からの正社員登用数:36人 ●専門人材の中途採用数:7人 ●女性管理職比率(課長級以上):13%(係長級女性比率:52%)	×	●契約社員からの正社員登用数:40人 ●専門人材の中途採用数:7人 ●女性管理職比率(課長級以上):20%
労働安全衛生への配慮	●職場復帰支援マニュアルの作成と職場復帰支援プログラムの全事業所での活用	●職場復帰支援プログラムを関東事業所中心にリリースし、活用をスタート	○	●BMI25%以上の社員改善に向け各事業所における健康増進活動の展開

人事関連データ

従業員の内訳(2017年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		3,637
	男性	2,457
	女性	1,180
パートタイマー ^{※2}		3,893
	男性	402
	女性	3,491
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		7,530
	男性	2,859
	女性	4,671
新卒採用者数		60
	男性	37
	女性	23
中途採用者数		0
	男性	0
	女性	0

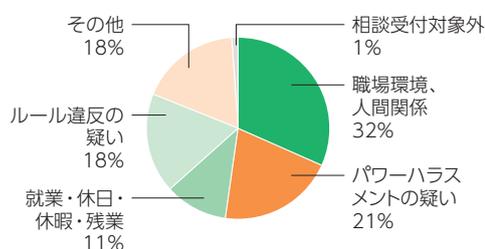
	2014年度	2015年度	2016年度
正社員平均勤続年数	22年0カ月	22年9カ月	22年7カ月
育児休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	193人 (7、85)	192人 (4、69)	225人 (2、108)
介護休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	6人 (0、5)	2人 (2、0)	9人 (2、5)
ボランティア休暇取得者数	制度なし	制度なし	制度なし
女性管理職比率 ^{※4}	23.1%	33.2%	34.6%
障がい者雇用率 ^{※5}	2.04%	1.97%	1.86%
正社員有給休暇取得率	6.6%	19.7%	22.0%
労働災害度数率	1.04	0.29	0.76
労働災害強度率	0.02	0.01	0.01

※1 定年再雇用者368人を含みます。
 ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。
 ※3 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
 ※4 係長級以上の比率。
 ※5 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

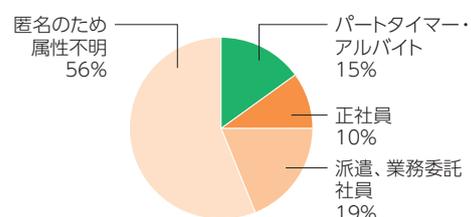
従業員相談受付関連データ

今期の受付件数は、前期比で約1割程度減少。相談内容別では、就業・時間外労働の相談が若干増加、ルール・法令違反の疑いと相談窓口対象外の相談が減少、職場環境・人間関係、ハラスメントの疑い、及びその他が前年とほぼ変わらずという状況でした。当社では、リスクマネジメントの徹底強化について継続して取り組んでいます。従業員相談窓口(社内通報制度)の周知とその積極的活用について常に呼びかけを行うとともに、就業ルールの遵守、時間管理及びコミュニケーションの質的向上に関する啓発活動に重点を置き継続的に実施しています。また、身近に発生し得るテーマについて顧問弁護士等に講師を依頼し、従業員に対するコンプライアンス・リスクマネジメントの研修を随時行っています。これらの啓発活動及び研修については、今後も継続して実施し、事故事件の未然防止につなげてまいりたいと考えます。

2016年度相談内容の内訳
受付件数73件(前年度比87%)



相談者の内訳



環境関連データ(詳細)

■データ推移(2012年度～2016年度)

項目	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
全社CO ₂ 排出量	t-CO ₂ 188,486 ※1	197,747 ※1	194,315 ※1	193,101 ※1	173,088 ※1
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量	t-CO ₂ 187,831 ※1	196,992 ※1	193,578 ※1	192,417 ※1	171,052 ※1
店舗運営に伴う電気使用量	GWh 357 ※1	346 ※1	341 ※1	339 ※1	315 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m ³ 2,438 ※1	2,354 ※1	2,265 ※1	2,262 ※1	2,128 ※1
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t 32,020	30,981	30,880	31,334	29,390

※1 2013年3月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO₂排出係数:温対法と同値)

■2016年度実績及び中長期目標

項目	2016年度実績	原単位 ※2	2016年度目標	評価 ※3	2017年度目標	2020年度目標	2030年度目標
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量 ※1	t-CO ₂ 171,052	99	179,507	○	145,961	126,552	103,085
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh 315	0.182	320	○	264	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m ³ 2,128	1.229	2,124	△	1,818	-	-
店舗運営に伴う廃棄物排出量	t 29,390	17	30,548	○	23,555	-	-
再生可能エネルギー利用量(太陽光パネル設置による拡大)	MWh 27	0.016	27	○	27	31	35

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO₂排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積[千m²]当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

■2016年度店舗データ

店舗	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m ³] ※	廃棄物排出量 [t]
池袋本店	28,445	54	478	4,326
渋谷店	7,419	16	98	953
船橋店	7,248	17	80	554
所沢店	4,847	10	67	764
筑波店	3,877	6	31	422
東戸塚店	4,741	9	73	1,241
高槻店	5,240	12	69	1,209
八尾店	5,560	10	76	2,625
大津店	4,122	9	51	1,110
福井店	5,373	8	42	396
岡崎店	2,636	4	33	239
旭川店	2,232	5	23	267
秋田店	3,212	5	28	521
小田原店	3,018	6	18	330
横浜店	17,346	32	243	3,844
千葉店	18,519	26	177	2,600
神戸店	7,404	16	117	1,636
広島店	12,894	18	118	1,504
大宮店	7,072	15	86	1,242
川口店	5,808	13	74	907
柏店	4,571	10	53	624
西神店	2,634	6	39	1,062
徳島店	6,831	8	54	1,014
店舗合計	171,052	315	2,128	29,390

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO₂排出係数:温対法と同値)

■2016年度環境会計

環境保全コスト (百万円)		
投資額	経費額	主な内容
242 (118)	1,389 (1,417)	LED導入、空調機器更新他
経済効果 (百万円)		
効果額	主な内容	
591 (439)	環境商材売上利益、LED導入での省エネ効果他	
環境保全全効果		
効果	主な内容	
電力2,379 (1,413) [千kWh] 削減	LED導入・空調機器更新による省エネ効果他	

※ () 内は前年

■2016年度サプライチェーンを通じたCO₂排出量

区分	カテゴリ	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]	
		排出量	構成比
スコープ1	直接排出	9,435 (10,812)	0.5% (0.5%)
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	164,619 (182,781)	7.9% (8.3%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,601,689 (1,696,683)	76.5% (76.7%)
カテゴリ2	資本財	53,335 (37,317)	2.5% (1.7%)
カテゴリ3	Scope 1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	15,779 (16,803)	0.8% (0.8%)
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	22,477 (24,389)	1.1% (1.1%)
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	2,571 (3,116)	0.1% (0.1%)
カテゴリ6	出張	594 (659)	0.03% (0.03%)
カテゴリ7	雇用者の通勤	1,926 (2,030)	0.1% (0.1%)
カテゴリ8	リース資産(上流)	算定対象外	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	1,995 (2,004)	0.1% (0.1%)
カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	
カテゴリ11	販売した製品の使用	24,698 (26,883)	1.2% (1.2%)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	141,918 (149,665)	6.8% (6.8%)
カテゴリ13	リース資産(下流)	34,586 (38,682)	1.7% (1.7%)
カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	
カテゴリ15	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用による排出	17,671 (19,370)	0.8% (0.9%)
スコープ3	その他の間接排出	1,919,239 (2,017,601)	91.7% (91.2%)
合計		2,093,293 (2,211,195)	100.0% (100.0%)

※ () 内は前年